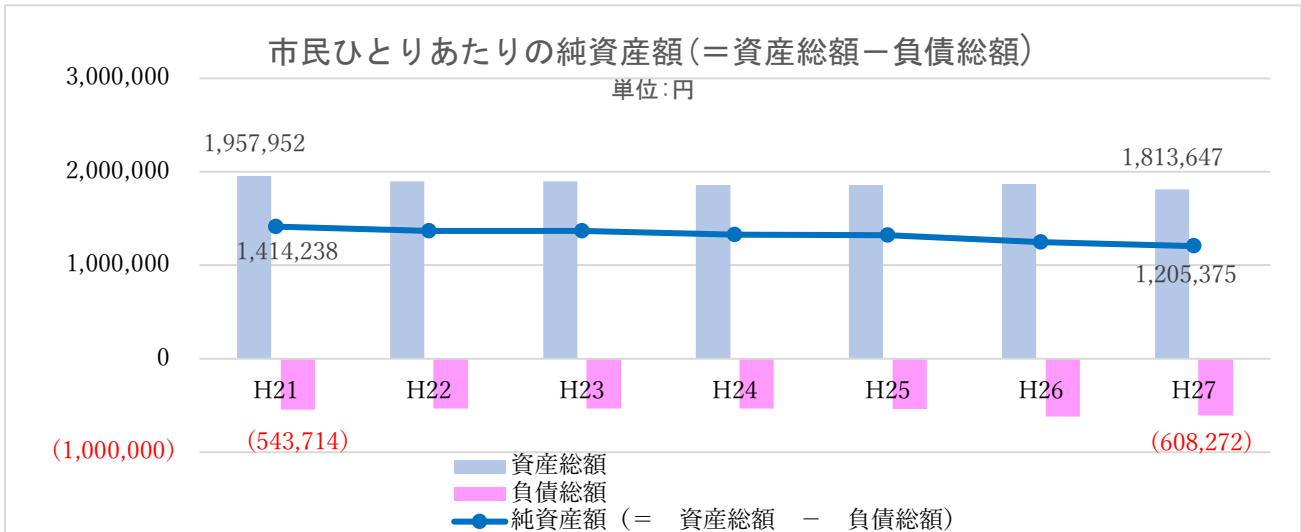
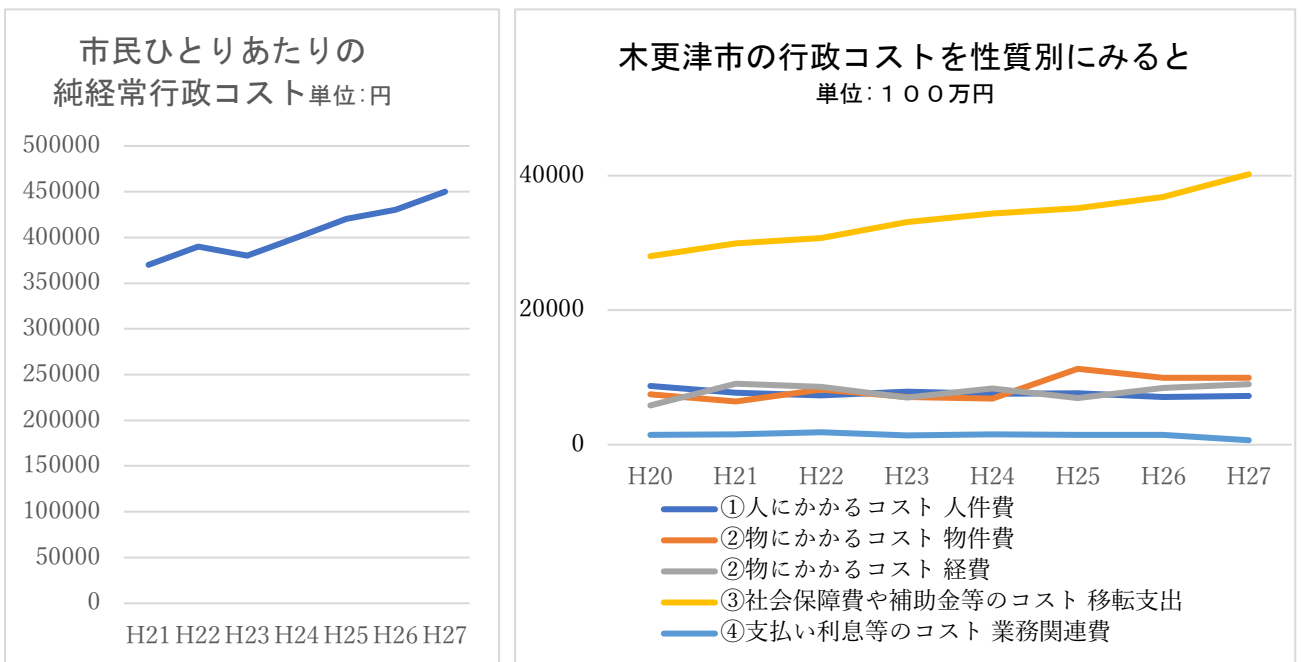


(1) 公会計(行政コスト計算書)を経年的にみると

- ① 将来世代に残る資産はどんな状況か
 - ・歳入総額対資産比率
 - ・資産老朽化比率
- ② 将来世代と現世代との負担は適切か
 - ・純資産比率
- ③ 借金はどのくらいか(財政の健全性)



④ 行政サービスは効率的な提供なのか



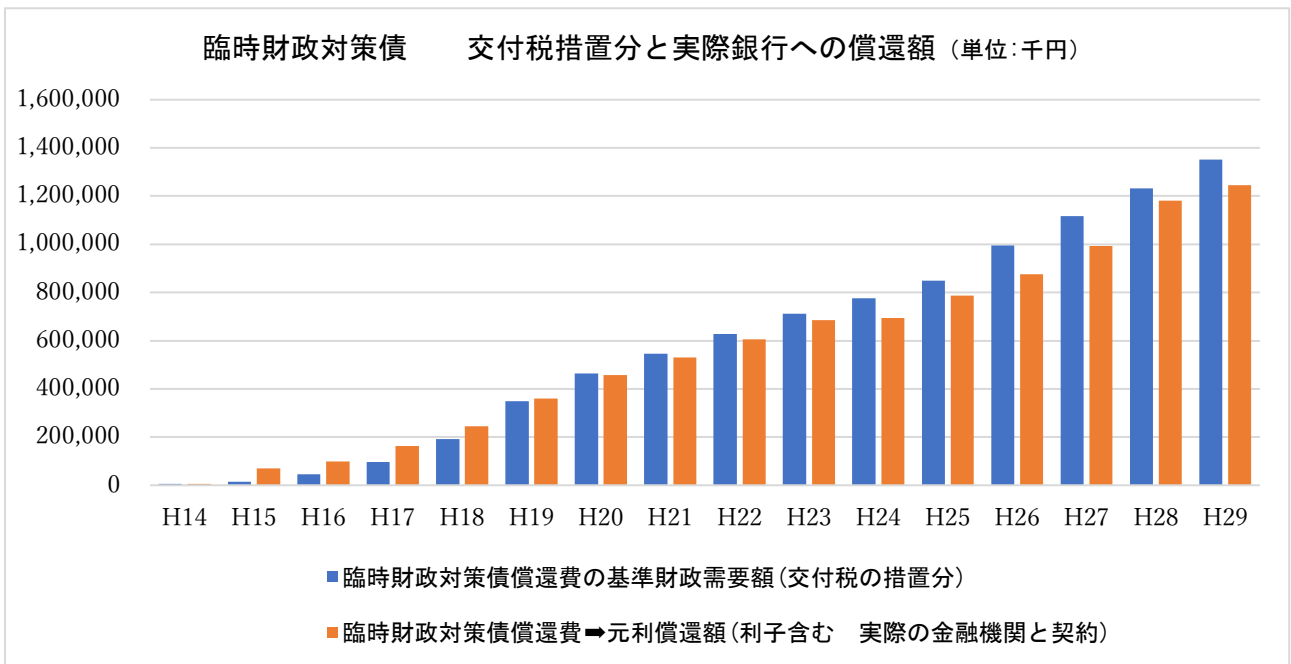
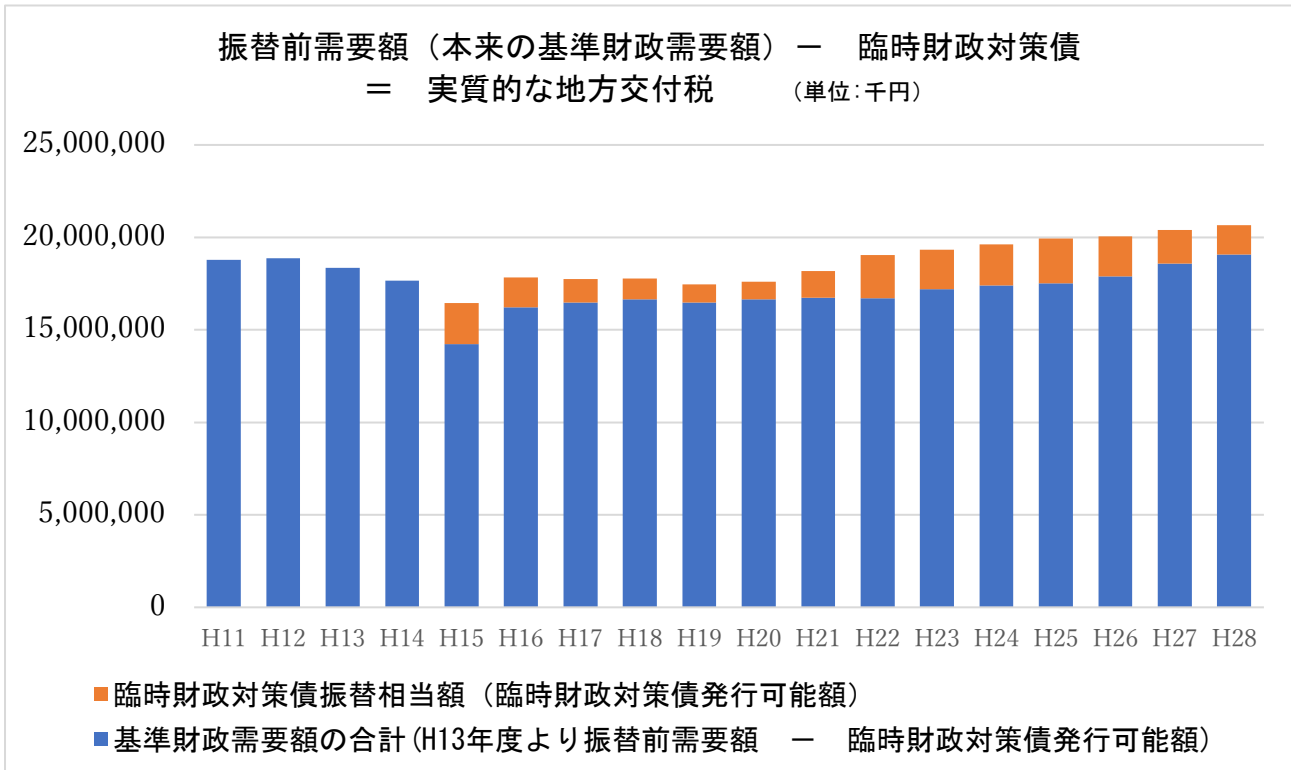
⑤ 資産形成を行う余裕はどのくらいか

- ・行政コスト対税収入等比率

(2) 財政関係の資料からの分析

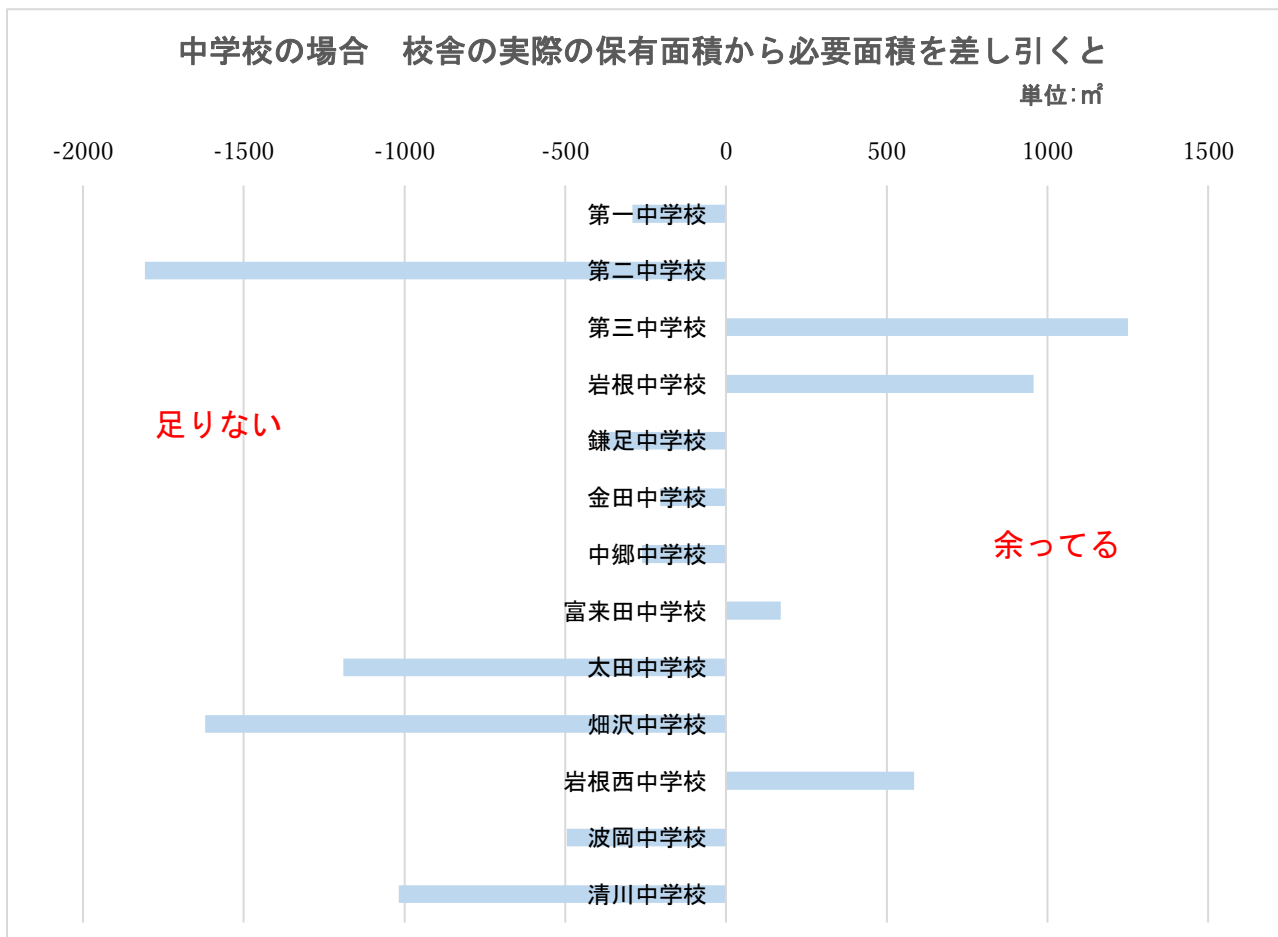
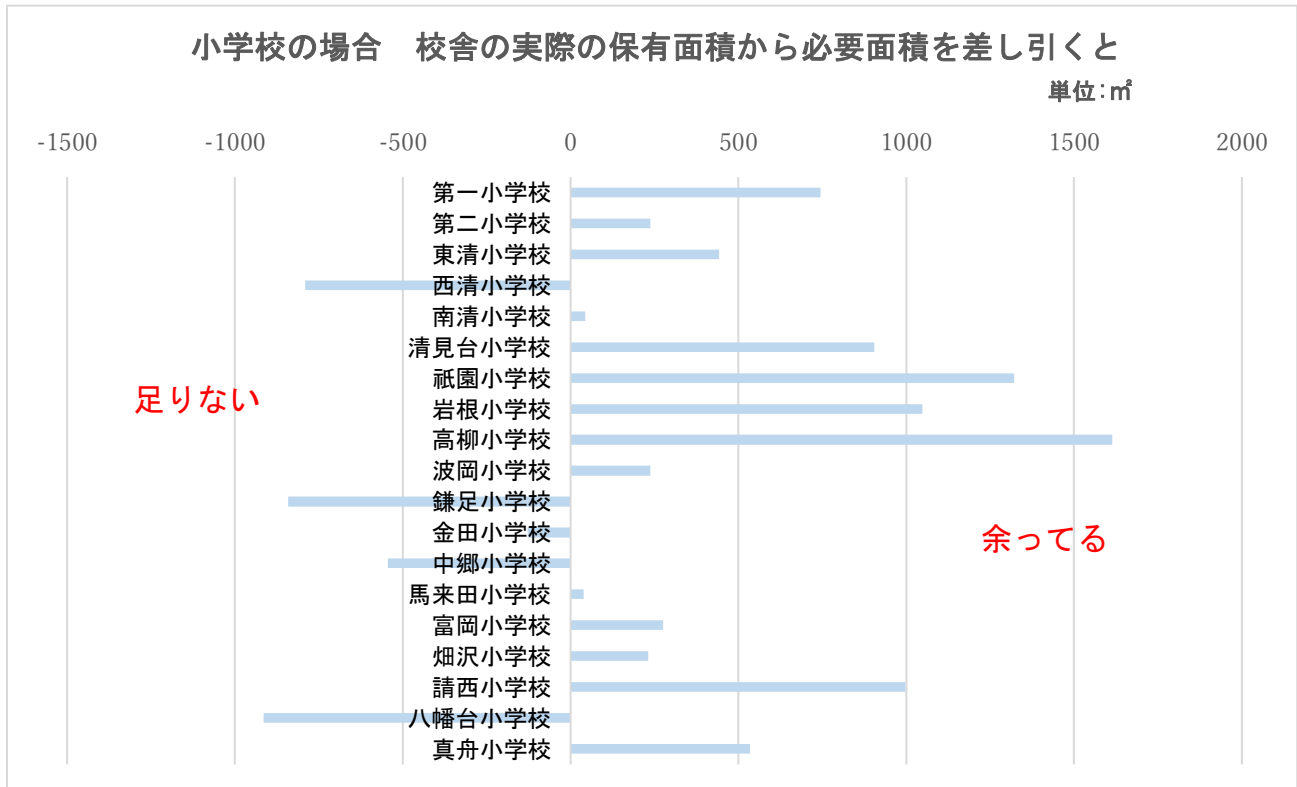
① 臨時財政対策債の償還額の現状

出典：地方交付税算定台帳

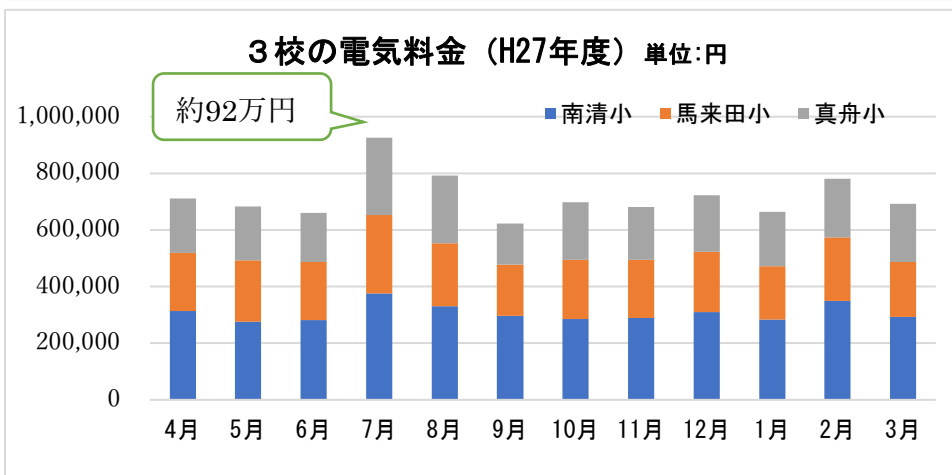
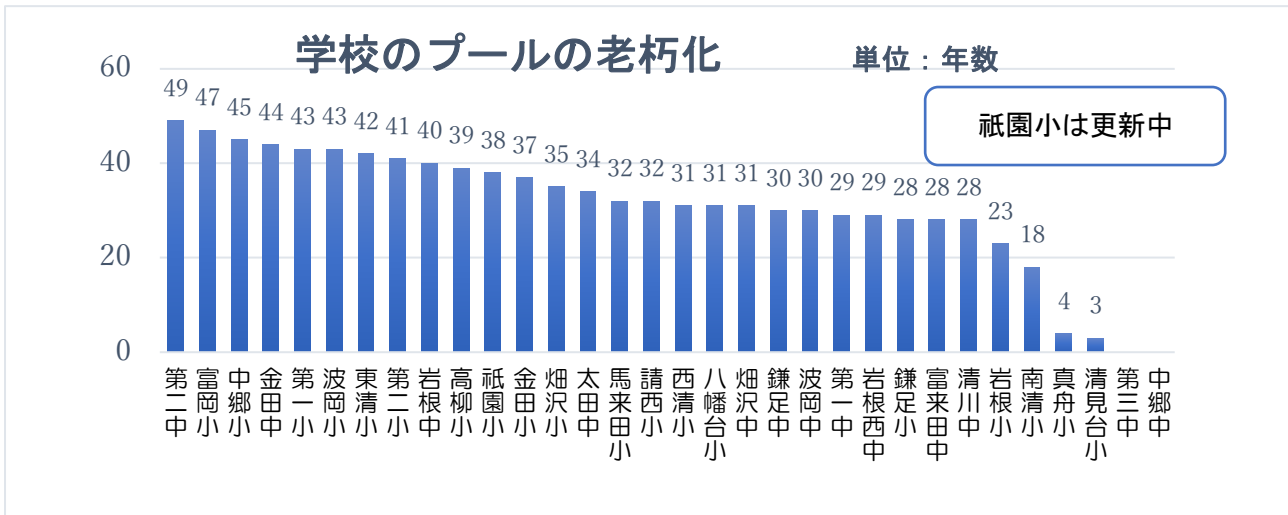


(3) ファシリティマネジメントと財政計画

① 学校施設の状況





② 学校のプールの状況 出典：公共施設再配置計画



月平均約 72 万円
ピークの7月との差
約 20 万円

③ 避難所である学校の体育館の状況 2016. 2. 18～19 調査 (学校名 建築年)

| 耐震診断をしたが、耐震補強工 事の必要がなかった体育館 | |
|---|---|
| 太田中 S54.3 | 岩根小 S56.8 |
|  |  |

| 新耐震基準に適合のため、耐震診断をしていない体育館 | | | | | | |
|---|---|---|---|--|---|---|
| 畑沢中 S57.2 | 八幡台小 S58.3 | 岩根西中 S59.2 | 波岡中 S60.2 | 清川中 S61.1 | 鎌足中 S61.1 | 西清小 S62.3 |
|  |  |  |  |  |  |  |